

1. はじめに

「雨天時浸入水対策ガイドライン（案） 令和2年1月（国土交通省水管理・国土保全局下水道部）」（案）第3章の冒頭には、「流域下水道については、流域関連公共下水道と相互に連携し、対策に係る推進体制を構築することが重要である。」と記載されている。

本参考資料では、流域下水道並びに流域関連公共下水道が雨天時浸入水対策を実施するにあたり、取り組むべき事項やその手順をとりまとめた。

流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定を促進するうえで参照されたい。

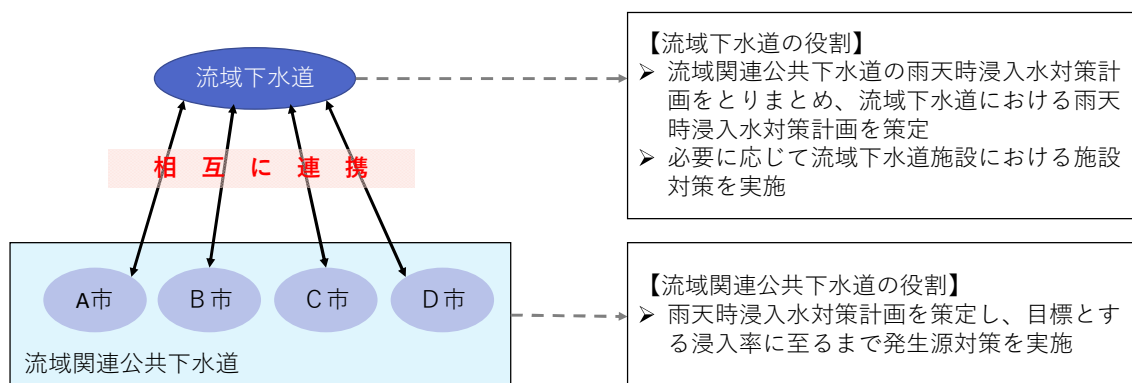
2. 流域下水道における雨天時浸入水対策計画策定手順

2.1 流域下水道における雨天時浸入水対策計画を策定するうえでの検討方針

流域下水道における雨天時浸入水は、流域関連公共下水道における面的管きよからの流入が主たる発生要因となることが多い。

このため、流域関連公共下水道において継続的な発生源対策を実施することを前提に、流域下水道の処理施設における運転管理手法や施設対策を定めた雨天時浸入水対策計画を策定し、総合的な対策を講じることが望ましい。

流域下水道における雨天時浸入水対策計画では、初めに流域関連公共下水道において雨天時浸入水対策計画を策定することにより対策目標を設定する。そして、流域関連公共下水道における雨天時浸入水対策計画を踏まえたうえで、流域下水道における雨天時浸入水対策計画を策定し、雨天時計画汚水量に応じた施設対策を実施する流れを基本とする。



図－1 流域下水道と流域関連公共下水道の役割

計画策定にあたっては、流域下水道内における雨天時浸入水の発生状況等について認識共有を図り、流域下水道が流域関連公共下水道に対し、発生源対策並びに雨天時浸入水対策計画の策定を要請する場を設定することが必要となる。

前述した事項を踏まえ、流域下水道における雨天時浸入水対策を策定するうえで検討する項目を以下のとおりとりまとめた。

検討項目

- I. 流域下水道並びに流域関連公共下水道における勉強会の開催
- II. 目標浸入率の算定
- III. 流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定
- IV. 流域関連公共下水道における雨天時浸入水対策計画の策定
- V. 流域下水道における雨天時浸入水対策計画に基づく施設対策の実施
- VI. 流域関連公共下水道における雨天時浸入水対策計画に基づく施設対策の実施

2.2 対策フロー

流域下水道における雨天時浸入水対策計画策定手順について3案作成している。各案の概要を表-1に、具体的な計画策定フローを図-2から図-4に示す。

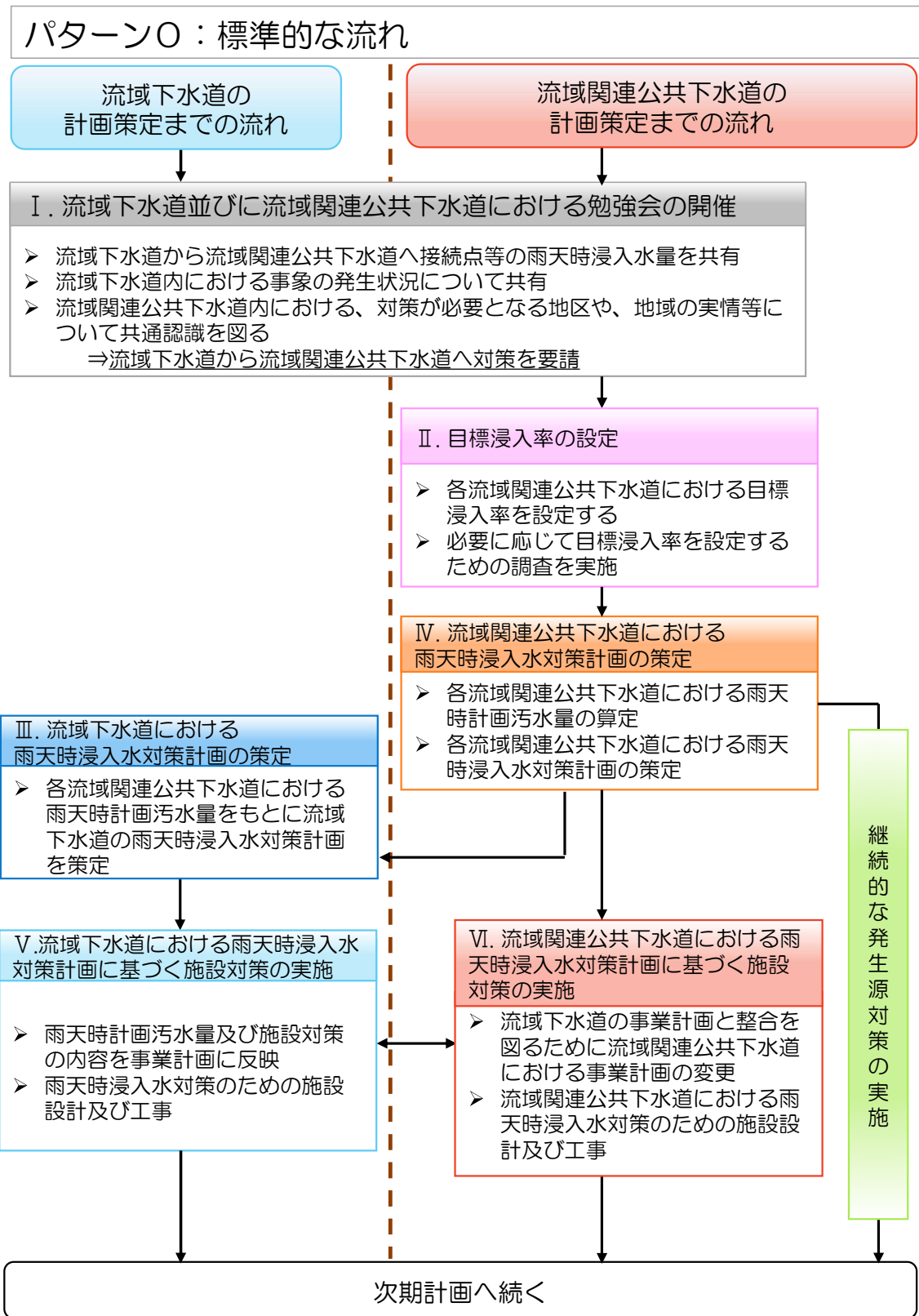
前述したとおり、流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定にあたっては、流域下水道内で雨天時浸入水の発生状況に関する認識共有を図った後に、流域関連公共下水道による発生源対策並びに雨天時浸入水対策計画の策定を行い、これらの方針を流域下水道における雨天時浸入水対策計画にとりまとめることが望ましい(パターン0)。しかしながら、流域関連公共下水道が技術面や経済面等の課題を有することにより、上述したスキームにより対策を実施することが困難な場合も存在する。

この場合は、流域下水道が主導で目標浸入率を設定することや、先導的に雨天時浸入水対策計画を策定することにより、流域関連公共下水道における雨天時浸入水対策を促進することも有効である(パターン1及びパターン2)。

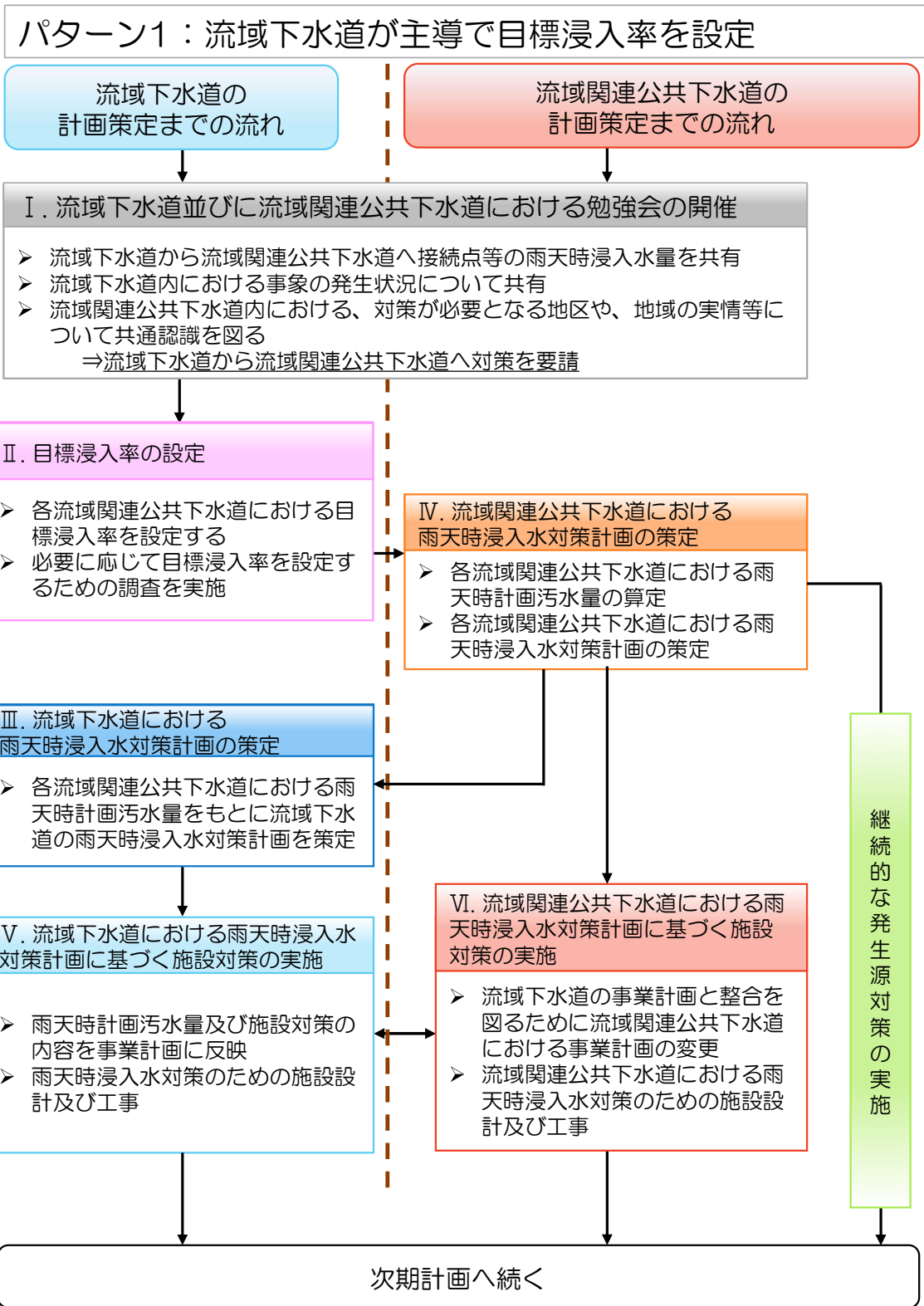
なお、具体的な事業の実施にあたっては、これらの案をもとに各流域下水道における実情を考慮した独自の促進策を検討することが望ましい。

表－1 流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定手順（例）

項目	パターン0	パターン1	パターン2
	標準的な流れ	流域下水道が主導で目標浸入率を設定	流域下水道が主導で雨天時浸入水対策計画を策定
概要	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 流域下水道の要請により、流域関連公共下水道が主体で発生源調査、雨天時浸入水対策計画の策定及び継続的な発生源対策を実施 ➤ 流域関連公共下水道における雨天時浸入水対策計画策定後にこれらを取りまとめ流域下水道の雨天時浸入水対策計画を策定 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 流域下水道で流域関連公共下水道の目標浸入率を設定 ➤ 結果を踏まえて流域関連公共下水道側で雨天時浸入水対策計画を策定 ➤ 流域関連公共下水道における雨天時浸入水対策計画策定後にこれらを取りまとめ流域下水道の雨天時浸入水対策計画を策定 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 流域下水道で雨天時浸入水対策計画を策定 ➤ 流域下水道における雨天時浸入水対策計画の中で流域関連公共下水道における対策目標及び期間について記載することにより流域関連公共下水道を先導 ➤ 流域下水道の雨天時浸入水対策計画をもとに流域関連公共下水道の雨天時浸入水対策計画策定 ➤ 流域関連公共下水道における雨天時浸入水対策を踏まえて流域下水道の雨天時浸入水対策計画を見直す
パターン0以外を採用する場合の留意点		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査を含む、目標浸入率を設定するために必要な検討を流域下水道が実施することにより、流域関連公共下水道の技術的及び経済的課題への対応が可能となる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 流域下水道が先導的に計画を策定することにより、流域全体の対策方針が明確となるため、雨天時浸入水対策計画の策定が喫緊の課題である場合に有効 ➤ 流域下水道が先に雨天時浸入水対策計画の策定を経験することにより、流域関連公共下水道が計画策定を実施するうえでの助言が可能となる



図－2 流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定手順（案）（パターン0）



図－3 流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定手順（案）（パターン1）

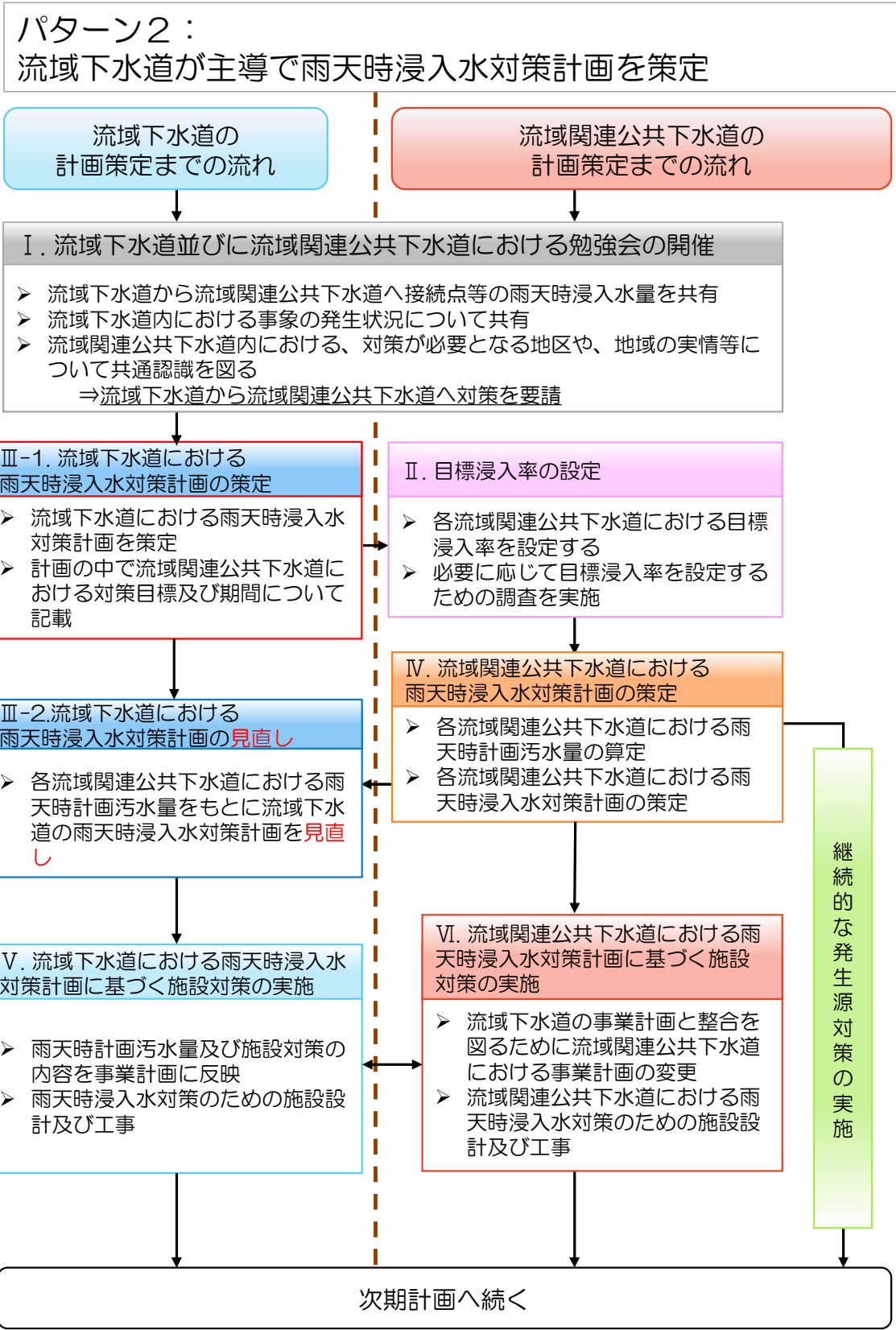


図-4 流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定手順（案）（パターン2）